



地域に根ざす医療機関を目指して

急性期治療病棟について
認知症疾患医療センターからのお知らせ



急性期治療病棟について

公益財団法人 正光会 宇和島病院

副院長 山内 宏治

従来日本では諸外国と比べて精神科病院での入院期間が長いことが特徴でした。しかし近年は厚労省の方針も症状が最も激しい急性期には入院して治療を行うが、その後は通院で治療を継続していくという方向に転換しています。

当院には1病棟、2病棟、3病棟、5病棟、7病棟と5つの病棟がありますが、このような精神科医療の流れのなか、平成22年5月から7病棟を急性期治療病棟として入院患者さんの治療を行うようになりました。急性期治療病棟は入院期間の長期化をさけるため入院期間は原則3か月以内とされており、集中的・効率的治療が行われるようになっていきます。

当院の急性期治療病棟の特徴は、病棟が3つのブロックに分かれていることです。各ブロックはそれぞれA棟、B棟、C棟と呼ばれ、渡り廊下でお互いつながっています。A棟は閉鎖（入口に鍵のかかっている）ブロックで、入院当初の一番具合が悪い時期にはこのA棟で過ごしてもらうことが多く、全室個室で周囲に気兼ねなくゆっくり過ごしていただけるようになっています。B棟は同じく閉鎖のブロックですが、個室のほか多床室があり、A棟でしばらく療養し、少し調子が落ち着いて来られた方がB棟に移ります。最後にC棟ですが、こちらは開放ブロックになっており、散歩なども自由に行えるように

なっています。A、B棟での治療を経て調子がだいぶ落ち着き、退院を考慮ができるような時期になるとC棟に移っていただき入院治療の最後の仕上げを行うこととなります。

入院される方の疾患は統合失調症、うつ病・躁うつ病、認知症、アルコール依存症やギャンブル依存症などのアディクション、摂食障害などさまざまです。入院中に行う治療としては薬物療法や作業療法のほか、グループ療法にも力をいれており、新入院ミーティング、心理教育ミーティング、退院準備ミーティング、アディクション・リハビリプログラムなどの治療プログラムがあります。

急性期治療病棟では従来より入院期間が短くなっていますが、退院後すぐ症状が再燃してしまわないように症状の管理やリハビリテーション、生活の支援が重要になります。そのためデイケアや訪問看護などとの連携を重視しており、入院中からデイケアへの仮通所を行ってデイケアのスタッフや通所メンバーと顔なじみの関係を作ることによって退院後に通いやすくなるようにしたり、訪問看護師との顔合わせを行ったりしています。また専任の精神保健福祉士による福祉制度等のご案内・各種相談も承っております。



デイケア「宙」について

デイケア部門 科長 藤原 誠二

宇和島病院のデイケア「宙」は平成7年に開設されました。徐々に拡大し現在デイケア・ショートケア・デナイトケアとして1日最大120名の方が利用されています。

デイケアは精神科リハビリテーションの場でありプログラムを通し社会生活に適應できるよう専門スタッフがお手伝いしています。プログラムに参加していく中で自信を取り戻し、障害を認識し、スタッフと目標を共に共有しながら回復(リハビリ)を目指しています。

プログラムは30種目以上実施しており、①症状改善や生活能力の再獲得を目指すもの②生活の楽しみや生きがい、仲間づくりを目指すもの③就労・復職に関するもの、など多種多様で外部講師の指導も受けています。また随時かき氷会・DNCスシロー会やあまなつコンサートなどイベント的プログラムや地域交流にも参加しています。当事者もスタッフもプログラムを楽しみながら、時に迷いながら取り組んでいます。

これからもプログラムの質を高め、安心してリハビリテーションができる「場」を当事者と共につくりあげていきたいと思ひます。



部署だより (外来)

患者さんが「安全・安心」に診療できる環境作りに努める

宇和島病院外来は看護師・精神保健福祉士・作業療法士の多職種チームで外来業務にあたっています。外来患者さんの診療の補助や、相談業務、訪問看護等を行い、多様化する精神科医療の現場ニーズに対応しております。今後も患者さんの安心安全な地域生活の実現に向けて、その一助となれるよう職員一人ひとりが質を高めて行きたいと考えています。



EVENTS & NEWS

8/29
(土)

第16回 ふれあいの夕べ



当初は屋外で行う予定でしたが、当日は雨のため宇和島病院デイケア棟を利用して屋内で開催することとなりました。雨の中でしたが小さなお子様からお年寄りまで、幅広い多くの方にお越しいただきました。

また、プログラムではゆうあい太鼓・デイケアコーラス(宙)・真美 福田カオリ教室・少林寺拳法など、多くの方達に出演していただき、盛り上げていただきました。

柿原1区自治会・城北中学校・宇和島看護専門学校などのボランティアにより、盛大に事故もなく無事に終えたことを感謝いたします。

今後とも、このような活動を通して、地域に密着した精神科医療・保健・福祉を提供していきますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

宇和島看護専門学校 20期生 久保友加里

私たち宇和島看護専門学校の学生11名は、正光会宇和島病院のふれあいの夕べにボランティアとして参加させていただきました。食べ物のお店やステージなど様々な催しが準備されていました。職員の方や患者様と近くでふれあい、共に楽しい時間を過ごすことができました。その中で、新たに知ったことや学んだこと、理解が深まったことなどがありました。ふれあいの夕べは、地域一体となったイベントであり、多くの方の楽しそうな表情を見ることができて、とても貴重な体験となりました。ありがとうございます。看護の道を目指す立場として、地域に貢献できるようこれからも日々励んでいきます。



城北中学校 生徒さん

今回は、僕にとって三回目のふれあいの夕べでした。今まではお店で販売などを行っていましたが、今回は司会を任せられました。緊張しましたが、スムーズに進行するために、事前に読むところをチェックし、読む練習を何回もして本番に臨みました。本番では、担当の方のアドバイスもあり、うまく会を進行することができました。また、自分も空いた時間に店を回り、楽しい思い出を作ることができました。来年もぜひ参加したいです。



5/27
(水)

第16回 青葉祭

うどんやフライドポテトなどの食べ物のお店のほか、今回も地域の作業所の皆様のご協力を得て、クッキー・シフォンケーキ・花苗などの出店をしていただきました。患者さんや家族の方など多くの皆さんにご来場いただき、多くの笑顔を見ることができました。



6/26
(金)

第40回 正光会医療研究会

医療研究会がきさいや広場で開催され、宇和島病院をはじめとした正光会関係機関による研究発表がありました。また、国立精神・神経医療研究センターの田島美幸先生による特別講演もありました。



7/24
(金)

第49回 うわじま牛鬼まつり

「第49回うわじま牛鬼まつり」<走り込み>に、患者さん・地域の人達など多くの方々と一丸となって山車(だし)を担ぎ、楽しく参加することができました。



8/19
(水)

院内感染全体学習会

全職員を対象とした感染予防の学習会を開催しました。手指衛生の基本についての講話やブラックライトを使用した手洗い実習などを行い、感染防止を呼びかけました。



10~4月
イベント
案内

精神保健福祉活動の輪を広げることを目的として、
さまざまなイベントの開催し、
地域のイベントへも参加しています。

10月21日(水)

宇和島病院文化祭

文化の秋に地域の方々と患者さんが触れ合うことができる『文化祭』。
毎秋、近所の保育園や近隣の作業所さんの協力を得て開催しています。

患者さんが作成した作品なども展示しています。

どなたでもご参加いただけます。

ぜひお越しください。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。



公益財団法人 正光会
宇和島病院

〒798-0027
愛媛県宇和島市柿原1280番地
☎0895-22-5622
FAX.0895-24-1182



交通案内(目安時間)

お車でのご来院

JR宇和島駅より、国道320号線経由 約9分

バスでのご来院

JR宇和島駅より、
柿原行 変電所前バス停下車約1分



<http://www.shokokai-grp.or.jp/category/uwajima>

正光会ロゴマークの紹介

正光会の理念をあらわす言葉「空と雲」。空は社会や公共を意味します。
2つの雲は患者さんと職員。2つの雲をつなぐのがS字形の正光会です。

